

第3号 平成22年1月1日

編集・発行: 西東京市生活環境部ごみ減量推進課

TEL: 042(438)4043(直通)

FAX: 042(421)5410

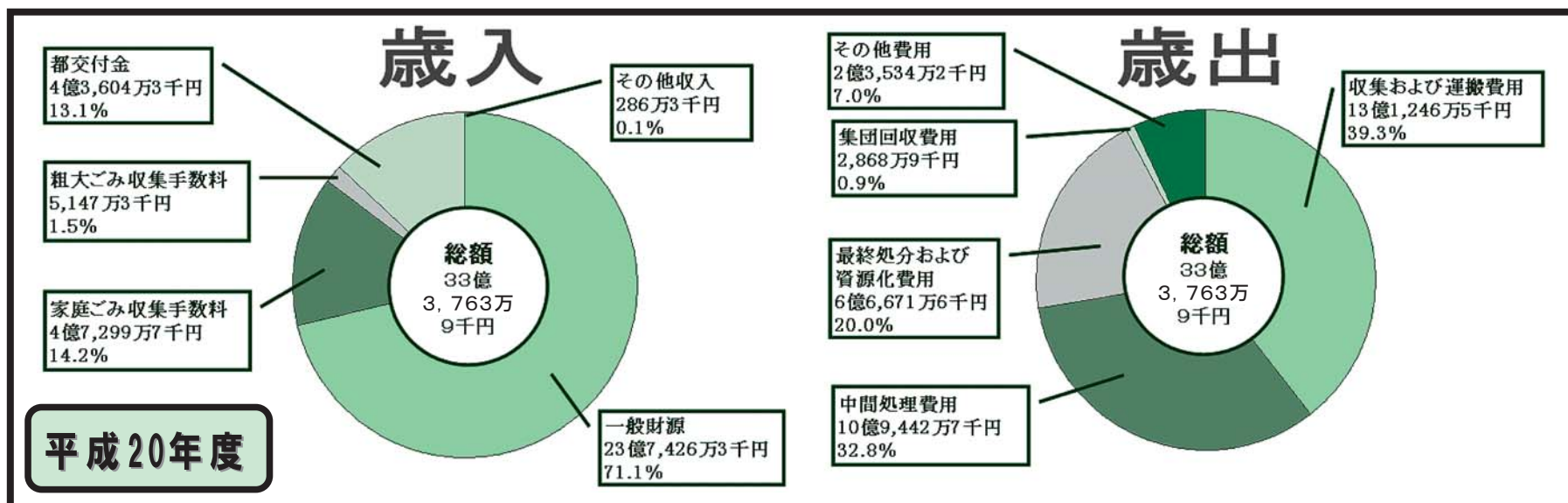
西東京市泉町3-12-35 エコプラザ西東京内

西東京市 E C O 羅針盤

エコらしんばん

平成20年度のごみ処理費用をお知らせします

平成20年度は、平成19年度から始まった「戸別収集」、「プラスチック容器包装類」、「金属類」、「廃食用油」の分別収集、「指定袋による有料化」が1年間を通して実施された初めての年度となりました。そのため、平成19年度と比較して費用が多くかかっていますが、2面に掲載しているとおり、ごみの収集量が大幅に減少するとともに、資源化を進めることができました。市民の皆さんが納めていただいた「ごみ処理手数料」は、すべてごみ処理の費用に充てられています。



ごみ・資源物の処理にかかる歳出の内訳

種別		平成19年度	平成20年度	
収集・運搬費用	ごみ	可燃ごみ	3億6,381万5千円	4億742万円
		不燃ごみ	1億9,652万6千円	1億519万4千円
		粗大ごみ	3,688万8千円	3,688万8千円
		有害ごみ	143万6千円	187万6千円
	資源物	びん類	1億2,322万5千円	1億3,661万5千円
		缶類	1億3,877万円	1億5,832万1千円
		ペットボトル	1億4,195万9千円	1億5,914万1千円
		古紙・古布	4,113万8千円	5,682万6千円
		金属類	1,579万円	3,382万1千円
		廃食用油	720万5千円	1,618万1千円
		プラスチック容器包装類	9,960万3千円	2億18万2千円
		白色トレイ	780万円	
	小計	11億7,415万5千円	13億1,246万5千円	
中間処理費用	柳泉園組合負担金	9億8,868万4千円	9億9,021万5千円	
	プラスチック容器包装類中間処理費用	5,368万5千円	9,338万6千円	
	古紙・古布中間処理費用		1,082万6千円	
小計	10億4,236万9千円	10億9,442万7千円		
最終処分・資源化費用	東京たま資源循環組合負担金	6億4,673万7千円	6億5,932万2千円	
	プラスチック容器包装類資源化費用	368万円	739万4千円	
小計	6億5,041万7千円	6億6,671万6千円		
集団回収にかかる処理費用(収集運搬・奨励金)		3,017万5千円	2,868万9千円	
その他経費(管理費・収集以外の委託料など)		2億2,047万5千円	2億3,534万2千円	
合計		31億1,759万1千円	33億3,763万9千円	

収集手数料収入

種別	平成19年度	平成20年度
粗大ごみ収集手数料	6,345万5千円	5,147万3千円
家庭ごみ収集手数料	2億6,151万9千円	4億7,299万7千円
合計	3億2,497万4千円	5億2,447万円

資源物売払収入

種別	平成19年度	平成20年度
金属類	225万7千円	280万7千円
廃食用油		44万8千円
古紙・古布		3,822万5千円
合計	225万7千円	4,148万円

1トン当たり処理費用

種別		処理費用
ごみ	可燃ごみ	6万944円
	不燃ごみ	9万879円
	粗大ごみ	21万4,992円
	有害ごみ	16万834円
資源物	びん類	10万1,732円
	缶類	19万3,766円
	ペットボトル	24万3,632円
	古紙・古布	3,929円
	金属類	21万2,424円
	廃食用油	34万9,613円
	プラスチック容器包装類	11万6,878円
	集団回収	8,279円

※エコプラザ西東京の運営に関する費用、し尿に関する費用は除きます。

※端数(千円)単位の切捨て、切上げがあります。

平成 20 年度のごみ収集量について

平成20年度は、戸別収集・プラスチック容器包装類等の分別収集・有料化が1年間を通し行われ、平成19年度と比較して、ごみの減量と資源化が推進されました。平成19年と平成20年度の収集量については、下記のとおりとなります。

平成19・20年度ごみ・資源物量

	可燃ごみ	不燃ごみ (有害物含む)	資源物	粗大ごみ	合計	対前年比
平成19年度	28,008トン	5,091トン	12,251トン	235トン	45,585トン	
平成20年度	24,521トン	2,823トン	13,258トン	227トン	40,829トン	-4,756トン

一人一日当たりのごみ量(柳泉圏構成市:平成20年度)

	収集量 (家庭から出されたごみ)	総ごみ量 (収集量+持込量)
西東京市	578.1グラム	704.6グラム
清瀬市	611.5グラム	698.6グラム
東久留米市	628.8グラム	744.1グラム

毎年、財団法人東京市町村自治調査会が実施している「多摩地域ごみ実態調査」によると、平成20年度の調査結果では西東京市での「1人1日当たりのごみ量(家庭から収集されたごみの量:可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、粗大ごみ、有害ごみ)」が578.1グラムで、多摩地域26市中、少ない順で1番になりました。また、中間処理施設への持込ごみ(事業系ごみ含む)を加えた場合では、704.6グラムとなり、26市中、小金井市、清瀬市に次いで、少ない順で3番目となりました。市民の皆さんのご努力によりごみの減量が進んでいることがわかります。これからもごみの減量および資源化を進めていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

廃棄物減量等推進審議会から西東京市廃棄物行政に関する施策について答申が出されました

「家庭ごみ3事業の検証と評価について」、「今後のごみ減量対策について」の概要

廃棄物減量等推進審議会では、平成21年6月30日に市長から諮問を受け、今年2月に実施した市民アンケートの結果や、ごみ処理経費、ごみ減量の実績等をふまえて、平成21年10月まで8回にわたって審議を重ねて検討してきました。10月27日に市長へ答申が提出されましたので、概要をお知らせします。

○諮問内容

- ①家庭ごみ3事業(戸別収集・プラスチック容器包装類等の分別収集・有料化)の検証と評価
- ②今後のごみ減量対策

○諮問を行った経緯

家庭ごみ3事業の実施から1年以上が経過して実績が出たことをふまえて、将来に向けて制度をより良くするために見直しをしていくことと、西東京市がよりごみ減量・リサイクルを推進するうえで、今後必要と考えられる対策を検討するため諮問を行いました。

○答申概要

家庭ごみ3事業の検証と評価・ごみ処理の今後の課題

- ・平成19年度から実施したごみの3事業については、大幅なごみの減量と資源化を図れたことから、十分な効果があったと評価できる。
- ・有料化に伴う可燃・不燃ごみの廃棄物処理手数料の設定に関しては、妥当な金額であり、概ね市民の理解を得られている。
- ・プラスチック容器包装類について、市民の洗浄や分別への協力が報われるようにするため、さらなる制度的工夫が必要と思われる。
- ・プラスチック容器包装類の発生を抑制するためには、市民の力だけでは限界があるため、小売店等との協働で店頭回収の拡大や過剰包装の抑制を市から要請していくことも必要ではないか。
- ・市全体の総ごみ量をさらに減らすため、事業系ごみの減量にも力をいれる必要があり、事業者が排出する一般廃棄物の減量と資源化に向けた働きかけを行うことが重要である。

提言(家庭ごみ3事業・今後のごみ減量対策について)

- ・プラスチック容器包装類の手数料に関しては、市民の分別への努力が生かされるよう、可燃・不燃ごみより低額に設定し、市民の分別意識を高め、資源化をさらに進めるべき。
- ・プラスチック容器包装類については、市民の分別意識を高め、資源としての品質を高めるために指定収集袋を透明化することがより良いと思われる。
- ・3事業実施の周知・啓発について、フォーラムの開催など、市民と行政、市民同士で意見交換等できる場を設ける必要がある。
- ・ごみ減量と環境保全のため、市・事業者・市民で協力し、レジ袋の削減を図る必要がある。
- ・家庭ごみの大幅な減量は図られたが、市全体のごみ減量のため、事業系ごみの削減を図ってほしい。
- ・生ごみ減量のため、個々の家庭でできる減量方法等をPRしてほしい。
また、剪定枝については、過去のモデル事業にとらわれず、資源化を進めてほしい。
- ・市民と行政で創意工夫、協力し、可能な限り資源化品目の拡大等を検討してほしい。
また、新たな住宅地にて集団回収の推進を図ってほしい。
- ・エコプラザ西東京を活用し、市民や事業者への啓発を期待する。

今後は答申に基づき、ごみ減量対策などの事業を検討・実施していくこととなります。なお、答申の全文は、田無・保谷両庁舎の情報公開コーナーに設置してあります。また、西東京市のホームページでもご覧いただくことができます。



答申を提出する会長・副会長
(左から金成副会長、山谷会長、坂口市長)

できることから始めよう！！ミニエコ実践講座

ごみの排出を少なくする(無駄になるものは買わない、貰わない、使い切る)

●レジ袋は1年間に1人あたり300枚が使用されていると言われ、そのほとんどがごみになっています

平成21年3月に実施した市民アンケート(対象者4,000人)では「日常的に行っているごみ減量は?」の質問に対して、1,415人の方が「マイバッグ持参でレジ袋をもらわない」と回答しています。また、10月5日に東京都地域消費者団体連絡会とごみ減量推進課・廃棄物減量等推進員が連携して、西東京市内21店舗のスーパーで実施したレジ袋辞退の調査では平均すると51.4%の方がレジ袋を辞退していることがわかりました。※レジ袋辞退率:スーパー等で支払いの際、全体に占めるレジ袋を断る人の率。

	都内全域	西東京市
調査店舗数	92	21
レジ袋無料店舗数	81	17
レジ袋有料店舗数	11	4
辞退率	41.2%	51.4%
レジ袋無料店舗辞退率	35.4%	43.9%
レジ袋有料店舗辞退率	83.4%	84.9%



市民の皆さん全員がマイバッグを持参することで、レジ袋を年間で1人100枚、辞退すれば約97トンのプラスチック容器包装類を減らすことになります。※5グラム(レジ袋1枚)×100枚×194,715人
レジ袋もプラスチック容器包装類です。レジ袋を減らすことはごみ減量だけでなく、CO₂削減による環境負荷の軽減にも大きな意義があります。

●金属類の収集日に使い捨ての傘が大量に排出されています

リサイクルできれば捨てても良いのでしょうか?金属部分はリサイクルされますがビニール部分はごみになってしまいます。安くて便利なビニール傘ですが、ちょっと使った後は廃棄ではなく、良いものを長く使ってごみにしない、環境にやさしいライフスタイルを試みませんか?



●家庭ごみの60%は可燃ごみです

野菜や肉、食用油などは無駄にしないで使い切ることが一番です。生ごみは水きりを徹底することで、ごみの重量を減らすことができます。また、生ごみ処理機等による減容・堆肥化もお勧めしています!!

(生ごみ処理機購入費助成制度があります。詳しくはごみ減量推進課へお問い合わせください。)

全世帯で1日10グラム(水切りも含めて)の生ごみを減らすことができれば、年間326トンの可燃ごみを減量できることになります。



新しくリサイクルの仲間が増えました。(少し手間をかけても資源へ)

古紙類の再処理技術の向上により、今までごみとして処理していたものが、分別していただくことで再生利用できるようになりました。ぜひ分別にご協力をお願いします。

飲料用アルミ紙パック(お酒、ジュース、豆乳のパック等)

今までは「不燃ごみ」として分別していただいていたのですが、古紙として回収できるようになりました。飲み口のプラスチック部やストローは外して、牛乳パックと同じように分けて、開いてひもで束ねて古紙類の収集日に出してください。

ビール缶包装紙パック

ビール缶を包んでいる紙は、水をはじく素材のため、雑紙に混ざると紙の品質が低下してしまいますので雑紙と分けて束ねて出してください。

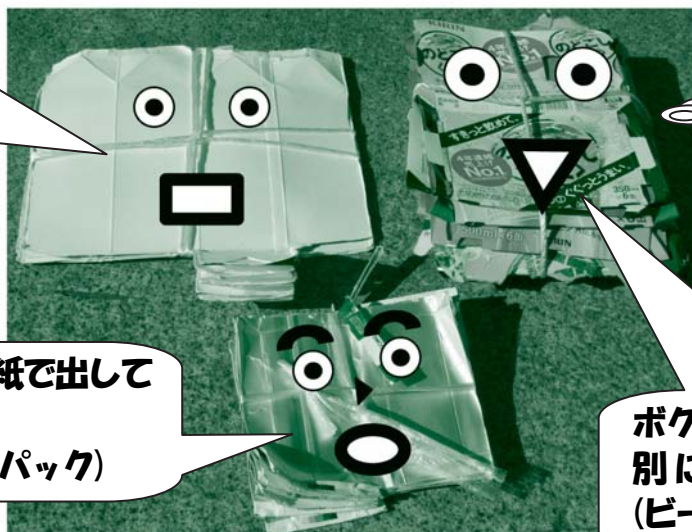
私はトイレットペーパーに生まれ変わっています。いつもありがとうございます!!(牛乳パック)

ボクも束ねて古紙で出してください!!(飲料用アルミ紙パック)

はじめまして!!
パック三兄弟です

牛乳パック
ビール缶包装紙パック
飲料用アルミ紙パック

ボクは雑誌と一緒に困るので別に分けてください!!(ビール缶包装紙パック)



環境とリサイクルなど学習・活動の場

エコプラザ西東京



TEL : 042-421-8585 FAX : 042-421-8586

開館時間 午前9時～午後9時30分

休館日 第3月曜日(当日が休日の場合は翌日)

エコプラザ西東京は、環境の保全と循環型社会の形成につながる活動を普及させるとともに、これらの活動を支援し、環境学習の場を提供するための施設です。市民向けの環境やリサイクルなどの各種講座やイベントを開催しています。今夏には「夏休み小学生自由研究2009」を開催し、大勢の小学生が参加し好評でした。

市民の皆様の環境活動の場所として、講座室(有料、2室)や多目的スペース(有料、簡単な実験・実習ができるコーナーがあります)では講座・イベントなどができ、学習コーナー(無料)には環境に関する本・資料などがありますので、ぜひご利用ください。また、館内には太陽光発電、屋上緑化、雨水貯留槽、無水式便器、LED照明、ガスコージェネレーション、エコセメントブロック舗装など環境、省エネに配慮した設備があります。生ごみ処理機の展示も行っています。

※エコプラザ西東京では、さまざまな団体が登録団体となって、自然や環境を守る活動やリサイクルの取り組みなど、広い範囲にわたる環境学習・活動などを行っています。

登録団体募集中です！！

エコプラザ西東京では登録団体を募集しています。詳しくはエコプラザ西東京へお問い合わせください。

《平成21年度登録団体一覧》

- 西東京おもちゃ病院
- 西東京市環境サポーター・はちどりの会
- ボーイスカウト西東京第2団
- 西東京自然を見つめる会
- ちくちくの会
- 釧路湿原自然再生でCO₂オフセットの会
- チャリティーリサイクル市民の会
- 西東京花の会
- 西東京菜の花エコ・プロジェクト
- Me C西東京
- 西東京子どもエコクラブ
- 西東京ライオンズクラブ
- キラキラ西東京
- リユース「和」の会
- アースデイ in 西東京実行委員会
- 東京第一友の会南沢方面
- 雅水会
- MOA自然農法西東京市研究会
- 東大農場・演習林の存続を願う会
- レジャ教育を広める会@キョウチョラ@
- ごみ資源化市民会議
- 環境まちづくりNPOエコメッセーエコメッセ西東京

リサイクル家具展示

お問い合わせ先 042-421-4445

午前9時～午後5時(休館日を除く)

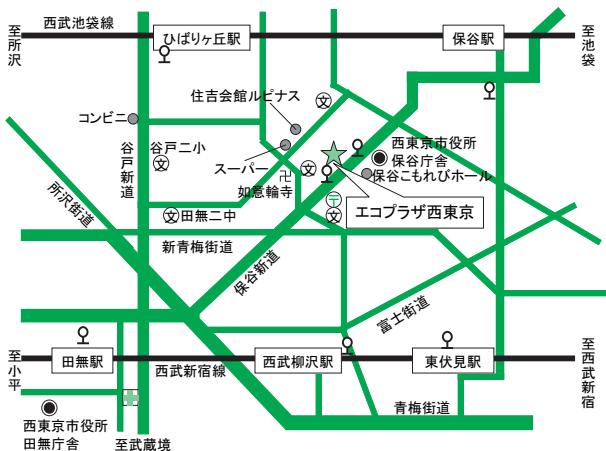
エコプラザ西東京展示スペースでは、ごみの減量化と資源の有効利用を図るため、ご家庭で不用になった再生可能な家具等を無料で回収し補修などした家具をお分けしています。なお、修復・配送手数料は頂いております。まだ使えるもので処分をお考えでしたらご連絡ください。(引き取ることができないものもあります。)

(西東京市シルバー人材センターリサイクル班)



アクセス

交通



拡大図

- 西武池袋線保谷駅より徒歩20分。
- 保谷駅より西武バスまたは関東バスで三鷹駅行きまたは吉祥寺駅行き(約10分)乗車、バス停「保谷庁舎」または「荒井竹」下車、徒歩3分。
- 西武新宿線田無駅より保谷駅行きまたは天神山行き(約15分)乗車、「荒井竹」下車、徒歩3分。
- 西武池袋線ひばりヶ丘駅より「はなバス」(約10分)乗車、バス停「保谷庁舎」下車、徒歩3分。